

【解答】

- 〔設問 1〕 a-エ, b-イ  
〔設問 2〕 c-キ, d-ア, e-ウ, f-オ, g-エ, h-イ

【解説】

ある社内システムを刷新する開発プロジェクト（以下、刷新プロジェクトという）における役割分担と要員計画についての問題である。

設問 1 では、〔仕様変更の依頼が発生した場合の取扱手順〕に則り、仕様変更を進める際の役割分担を理解しているかどうか問われている。設問 2 では、実際に仕様変更が発生した際に、仕様変更の発生規模や発生時期によって、要員計画がどのように変わるかが問われている。どちらも問題文の取扱手順や、設問文に示された生産性や工数などを参考に計算する問題である。プロジェクトマネジメントの特別な知識がなくても解答できるので、問題文を正確に読み取り、確実に得点したい。

〔設問 1〕

〔仕様変更の依頼が発生した場合の取扱手順〕に記述されている、プロジェクト管理チーム、担当 PM、開発チームの役割を把握すれば容易に解答できる。

- ・空欄 a1：(1)において、「利用部門は、仕様変更の目的及び内容と、変更によって得られる効果を記述した仕様変更依頼票を起票し、a1 に提出する」と記述されている。プロジェクト管理チームの役割に、「仕様変更依頼票の受渡しなど利用部門との書類や情報のやり取り」と記述されている。したがって、「プロジェクト管理チーム」が入る。
- ・空欄 a2：(3)において、「仕様変更依頼票の記述内容を確認し、内容が妥当であれば、受領」と記述されている。「仕様変更依頼票の確認」をするのは担当 PM の役割である。したがって、「担当 PM」が入る。
- ・空欄 a3：(3)において、「変更内容に対する影響調査を該当する a3 に対して依頼するように」と記述されている。開発チームの役割に「影響調査を実施する」とあるため、「開発チーム」が入る。  
a1 は「プロジェクト管理チーム」、a2 は「担当 PM」、a3 は「開発チーム」となり、正解は (エ) である。
- ・空欄 b：変更管理会議において、仕様変更依頼が採用された場合、担当 PM は何をするかが問われている。仕様変更依頼が採用された後の担当 PM の役割は、「プロジェクト計画の更新」である。したがって、正解は (イ) の「仕様変更依頼の内容をプロジェクト計画に反映させて更新」である。

〔設問 2〕

- ・空欄 c：図 1 の後に、「刷新プロジェクトの開始後 13 週目において、機能 L に対する仕様変更依頼票が起票され」と記述されている。13 週目とは、図 A からプログラム開発工程であることが分かる。このプログラム開発以降の工程に影響調査をするチームを解答する。プログラム開発以降の工程の影響調査については、〔仕様変更の依頼が発生した場合の取扱手順〕の(3)に「プログラム開発以降の工程では、システム全体への影響を迅速に把握する必要があるので、Q 社のルールでは、全ての a3（開発チーム）に対して影響調査を依頼する」と記述されている。したがって、正解は (キ) の「全ての開発チーム」である。
- ・空欄 d：仕様変更に関わる、設計工程から結合試験工程までの追加の工数を求める。  
〔影響調査結果の概要〕の表 1 の後に、「仕様変更を行っても、開発を進めている機能 L のプログラムを変更する必要はなく、機能 L の当初計画の開発規模の 10%の追加開発が必要と分かった」と記述されている。このため、表 1 の各工程の工数の 10%を求めると、設計工程は 4 人月、プログラム開発工程は 10 人月、結合試験工程は 5 人月で合計 19 人月となる。したがって、正解は (ア) の「19」である。
- ・空欄 e：仕様変更における結合試験工程の完了時期を解答する。計画 1 には「仕様変更分の総合試験は、当初計画分の総合試験の開始時点から実施する」とあるので、図 1（図 A）の 9 か月目からの開始となる。図 1 の前に「1 か月は 4 週とする」とあるので、結合試験工程は 4（週）×8（か月）＝32（週）によって、32 週目終了までに完了させる必要がある。したがって、正解は (ウ) の「32」である。
- ・空欄 f, g：仕様変更に関わる、設計工程から結合試験工程までの期間の各週に必要な追加の要員が問われている。計画 1、計画 2 についての記述の後に、「仕様変更に関わる、設計工程から結合試験工程までの期間は、刷新プロジェクトの開始後 17 週目開始から、計画 1 又は計画 2 の総合試験工程の開始前までとする」、また、「追加の要員は、全ての工程を担当できるスキルを備えているものとする」という記述があるので、単純に必要な追加の工数（19 人月）を期間で割れば最少人数が求められる。
  - ・計画 1：空欄 e から、32 週目終了までに結合試験工程を完了させる必要がある。17 週目開始から 32 週目終了までは、4 か月（図 A）であるので、仕様変更にかかる 1 か月当たりの人数は、次のようになる。  
$$19 \text{ (人月)} \div 4 \text{ (か月)} = 4.75$$
少なくとも 5 人が必要である。したがって、空欄 f の正解は (オ) の「5」である。
  - ・計画 2：36 週目終了までに結合試験工程を完了させる必要がある。17 週目開始から 36 週目終了までは、5 か月（図 A）であるので、仕様変更にかかる工数 1 か月当たりの人数は、次のようになる。  
$$19 \text{ (人月)} \div 5 \text{ (か月)} = 3.8$$
少なくとも 4 人が必要である。したがって、空欄 g の正解は (エ) の「4」である。

- ・空欄 h：追加可能な要員が各週とも最多 4 人である場合、計画 1 では不可能になり、「計画 2 だけが実現可能である」。したがって、正解は (イ) である。

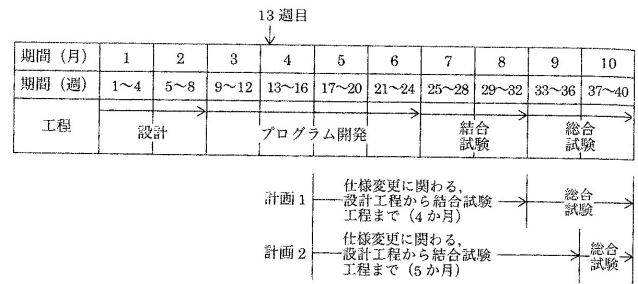


図 A 刷新プロジェクトのスケジュール（週を追加）